
情報モラル教育の推進 ～家庭との連携～

江戸川区立第四葛西小学校
校長 伊藤 秀一



教員の意識化

管理職がビジョンを示す

学び方スタンダード

持ち物	前日に必要な学習用具を準備します
着席	授業の始まりの時間を守り席に着きます
挨拶	授業の始めと終わりにあいさつをします
姿勢	背筋を伸ばした姿勢で座ります
話し方	声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します
聴き方	話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます
返事	名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします
家庭学習	学年ごとに時間を決めて家庭学習に取り組みます

学び方スタンダードとは

「学び方スタンダード」とは、確かな学力の向上を図る上で、一之江小学校の全ての児童に必ず身に付けてほしい学習習慣の根幹となるものです。



「あいさつ」から始めよう

- じぶん自分から
- めみ目を見て
- げんき元気に
- あいさつを



- ・学校経営案に示す
- ・自己申告に位置付け
- ・児童は毎月チェック

教員の意識化

計画的な情報モラル

情報活用能力（情報モラルを含む）育成年間計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		情報活用能力育成 東京モデル															
道徳		道徳の授業との関連付けた情報モラル															
各教科等		各教科等と関連付けた情報モラル															
児童会		学校ルール作成		ポスター・動画の作成			全校へ呼びかけ				振り返り						
情報モラル	1年	タブレットのルール	学校公開 GIGA ワーク 東京 活用授業 ①		6年生との交流		GIGA ワーク 東京 活用授業 ②				6年生との交流		GIGA ワーク 東京 活用授業 ③		振り返り		
	2年				5年生との交流						5年生との交流						
	3年																
	4年																
	5年				日めくりカレンダー						2年生との交流					2年生との交流	
	6年										1年生との交流					1年生との交流	

じょうほう かくしゅう
情報モラル学習サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな?～



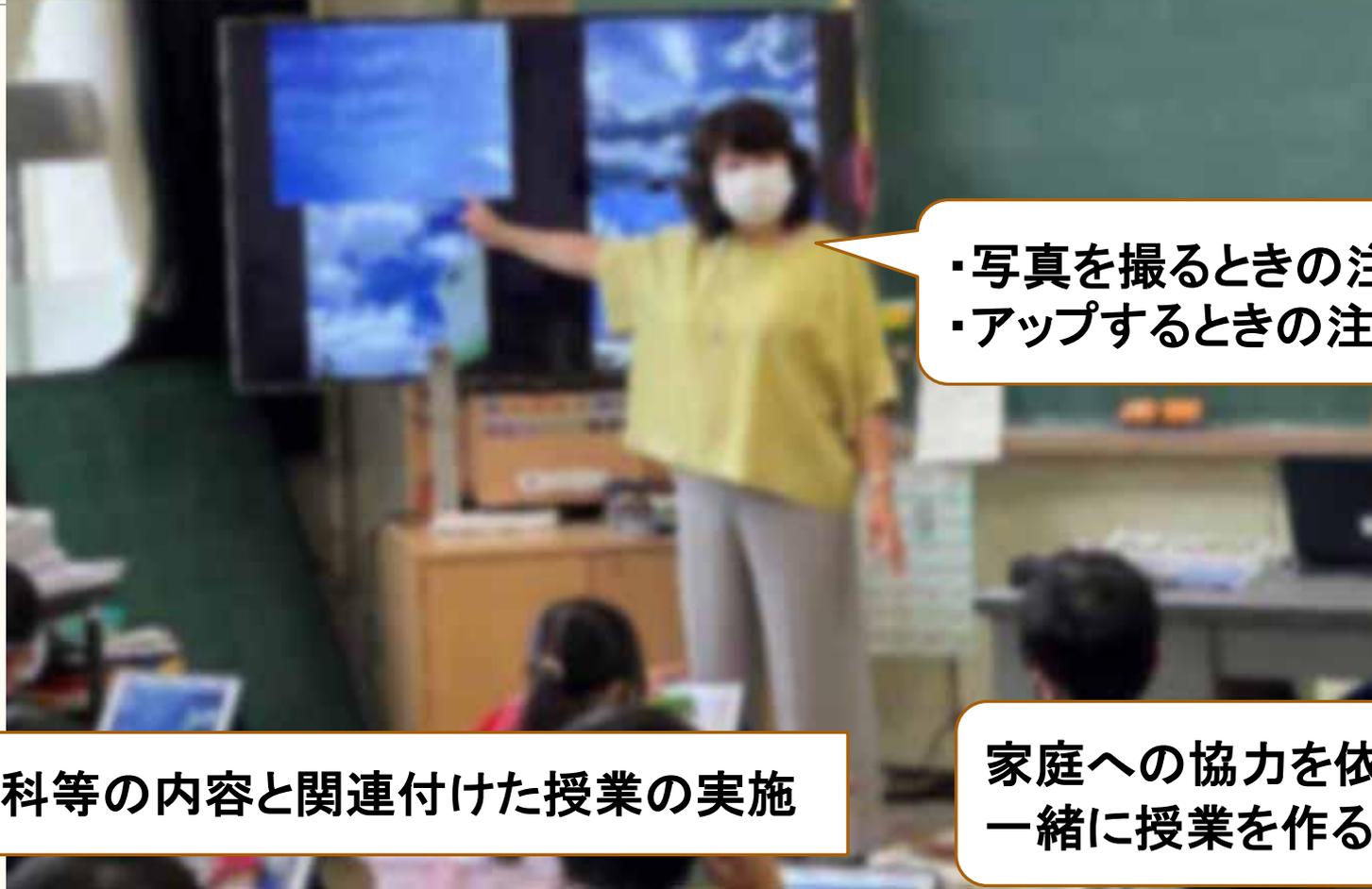
コンテンツ
逆引きツール
年間指導計画
作成ツール

GIGAワークブック2025 活用サイト

教員の意識化

目的に応じた
情報モラル

生活科「秋を見つけよう」



- ・写真を撮るときの注意
- ・アップするときの注意

教科等の内容と関連付けた授業の実施

家庭への協力を依頼し
一緒に授業を作る

児童の意識化

基盤となる 日常モラルの育成

朝の挨拶運動



日直は挨拶当番



日頃からの
モラル・マナーの浸透

履き物をそろえる



児童の意識化

計画的な情報モラル



並び替え

1
まじめだね

絶対にイヤ

2
おとなしいね

3
いっしょ
けんめいだね

順番の違い

カードを用いて、自分と他者との受け取り方の違いを
相互に確認し合い認識

児童の意識化

目的に応じた 情報モラル

- ・写真を撮るときの注意
- ・アップするときの注意
- ・インタビューをするときの注意

適切に使う力の育成



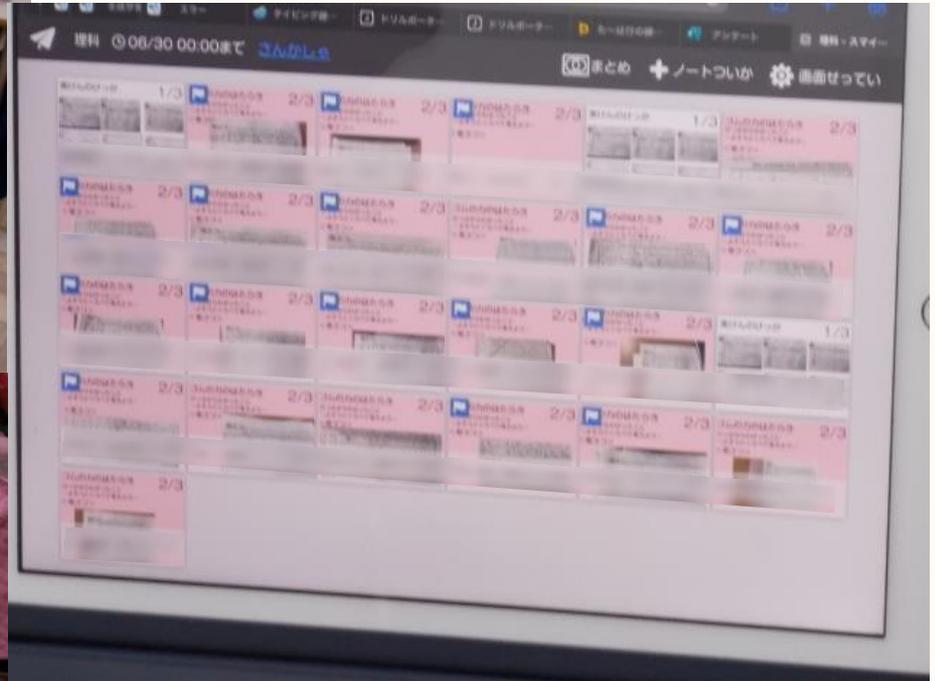
積極的な活用と
振り返りの実施



学校探検
インタビュー

児童の意識化

適切に使う力の育成



意見の共有



考え方の深化

児童の意識化

適切に使う力の育成



有効な活用の仕方を
身に付ける



情報化社会で生きていく力



理科の実験・結果・考察・まとめ

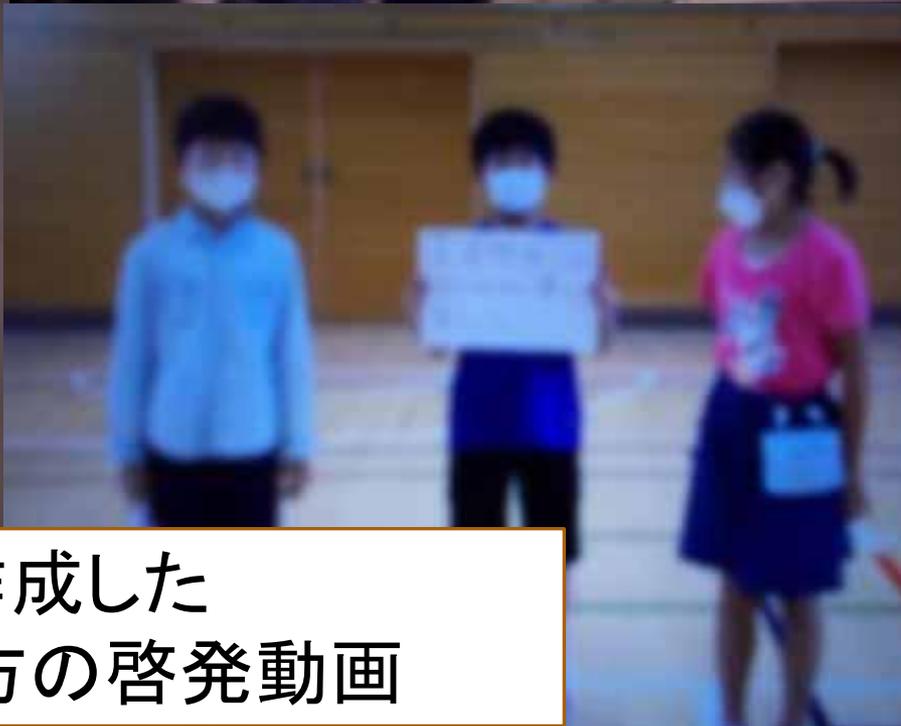
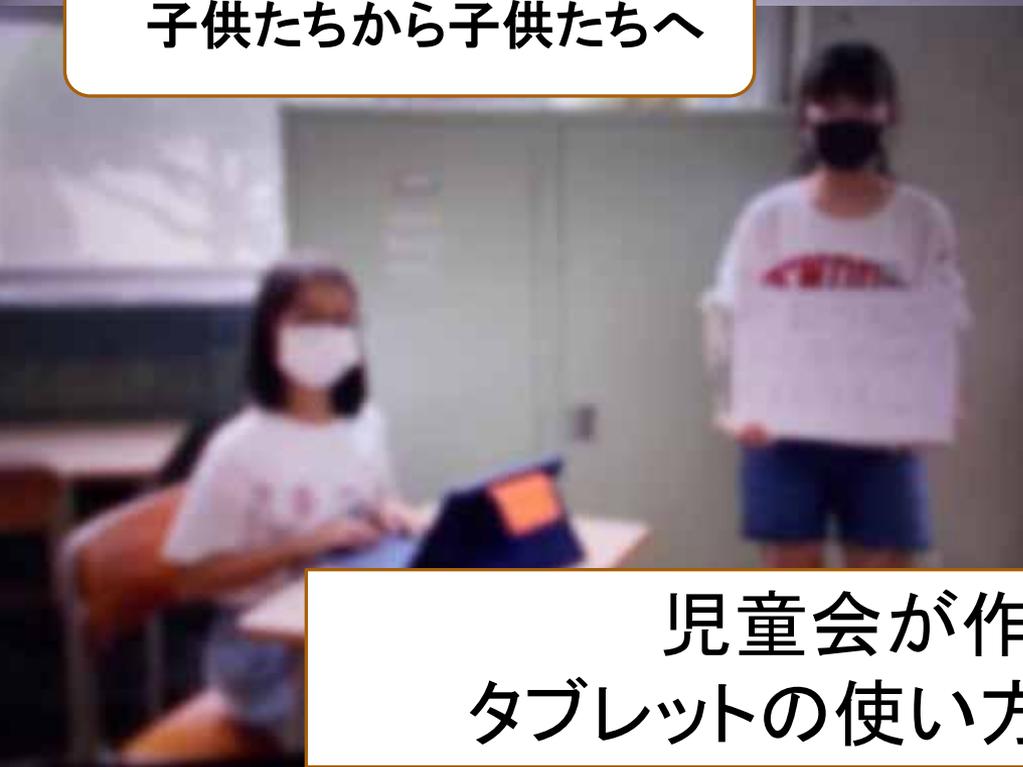


児童の意識化

児童の主体性の育成

代表委員会からのお知らせ

子供たちから子供たちへ



児童会が作成した
タブレットの使い方の啓発動画

児童の意識化

自律に向けた
力を高める

アイパッド ミニじょう

- ①カメラのつかいかた
- ②チャットのつかいかた
- ③正しいアイパッドのつかいかた

上級生が先生役になり
下級生に指導

こういった学校での取組を
たよりやホームページ等で保護者に向けて
積極的に発信をしていく

保護者を巻き込む

学校公開で
情報モラルの
授業を実施



<保護者>

情報モラルについて一緒に考える機会

<教師>

授業作りを通した情報モラルの理解

子供たちのために一緒に考えるきっかけを提供していく

保護者を巻き込む

外部講師による講演会



保護者参加型の
アクティビティ



保護者が「GIGAワークブック」
のカードの活用体験

外部講師から、保護者に直接メッセージを伝達

保護者を巻き込む

親子で取り組む



保護者様へ

江戸川区立第四葛西小学校へ

校長 伊藤 秀一へ

生活指導担当へ

へ

ふれあい月間「親子で情報モラルを考えよう」の取り組みへ

電子ドリルの課題を見てもらう



児童のタブレットを開いてもらう

親子で一緒に考えよう「スマホ・ゲームの困りごと」シリーズ ①

「さすがに、使いすぎじゃない？」

一緒に考えるポイント① 何にどのくらいの時間を使っているかを「見える化」



使いすぎでないかな

みなさんは1人1台端末を何に使う時間が一番長いと思いますか。
自分が使っていると思う時間が長い順にならべてみましょう。

1 何かを調べる時間

2 動画を見る時間

3 ドリルなどで
考えたり、回答する時間

4 プログラミングや
算数など、
何かをつくる時間

5 誰かと
チャットする時間

親子で一緒に考えてもらう
(静岡大学 塩田研究室のページ)

保護者を巻き込む

目標設定と振り返り

はやね・はやおき・あさごはん
 じゅうかんカード

ねん くみ ばん なまえ

☆もくひょう（おうちのひとと きめましょう）

あさ おきるじかん → じ ぶん よる ねるじかん → じ ぶん

テレビ・スマホ・タブレット・ゲームなどを つかうじかん → じかん ぶんまで

☆5にちかん、できたら○、できなかったら×をつけましょう

	4/15 (げつ)	4/16 (か)	4/17 (すい)	4/18 (もく)	4/19 (ごん)	○のかず
あさ おきるじかんを ほもれた						
あさごはんを たべた						
テレビ・スマホ・タブレッ						
ばんごはんを たべた						
よる ねるじかんを ほも						
おうちの人のチェック (どちらかに○をお願いし						

☆5にちかんの すこ

じぶん	よくで
おうちのひと	コメントを お願いします

なつやすみかていルール

ねん くみ ばん なまえ

インターネットやネットゲームのやくそく

かてい生活のやくそく

お家の人とぎめたやくそくが まもれたら ○ まもれなかったら △ をつけてまいにちお家の人にみてもらおう

日にち	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2
よう日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
インターネッ トやゲー ムのやくそ く													
かてい 生活の やくそく													
お家の人の サイン													

「SNS家庭ルール」を守る宣言

いちのえしょうがっこう 年 組 名前

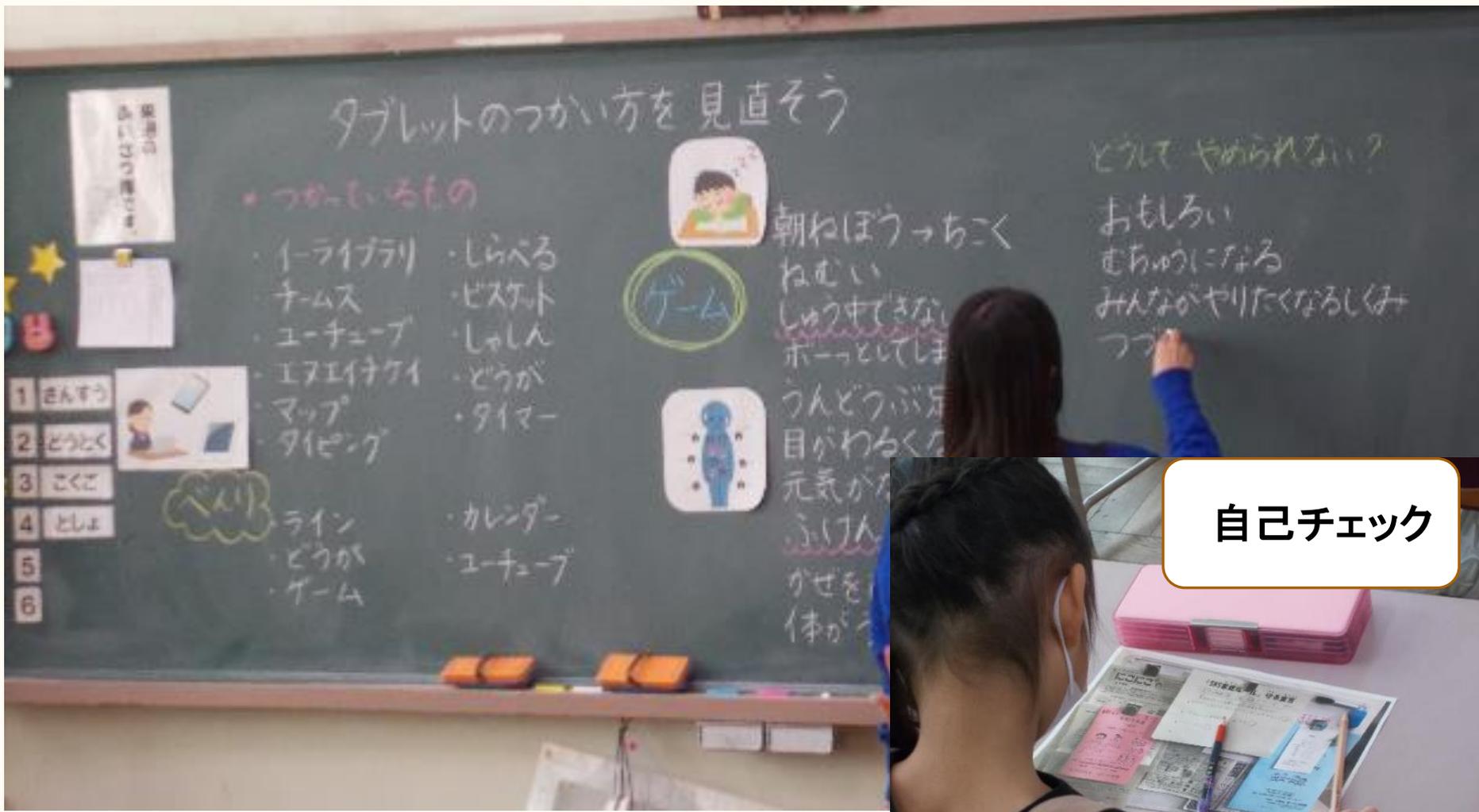
私はタブレットを使うとき次の約束を守ります！

-
-

- 生活習慣改善週間
- 保護者会
 - 家庭ルール作りの依頼
- 学校公開
 - 授業の参観・講演会の実施
- 学校だより
- 長期休業中のルールチェック
- 個人面談
 - 家庭ルールの見直し
 - 状況把握、悩み相談

保護者を巻き込む

目標設定と振り返り

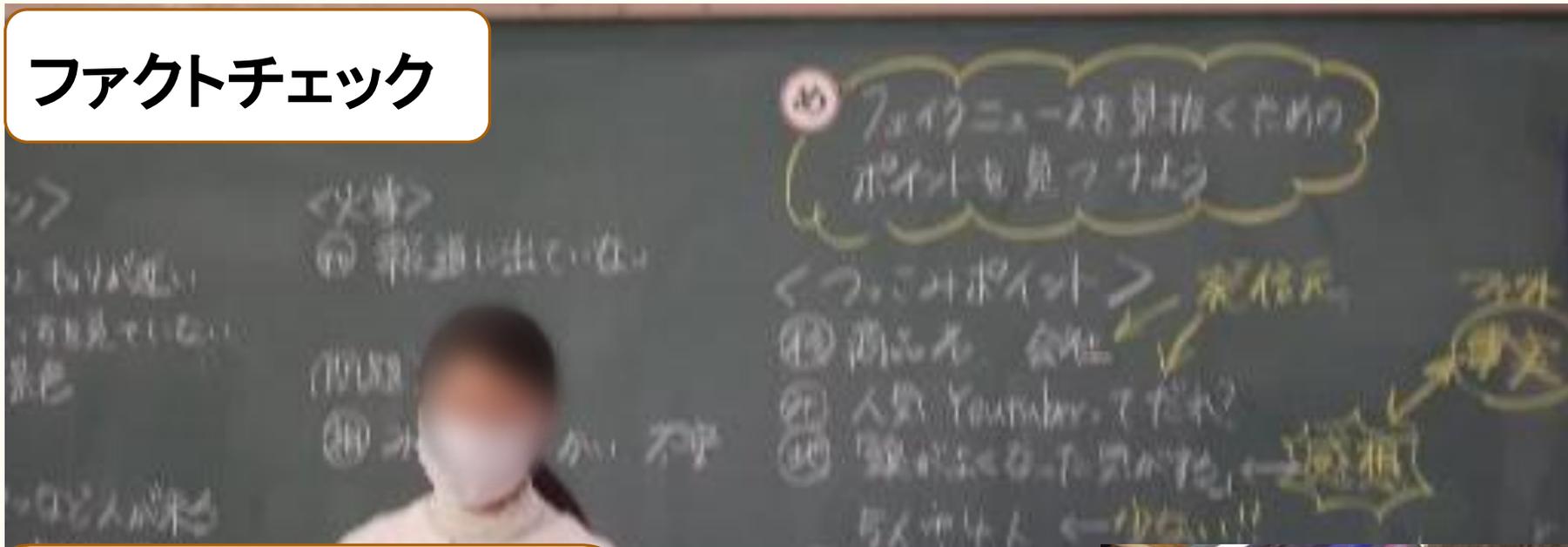


自己チェック

自分が行った「守る宣言」をもとに振り返り

時代に即した授業の工夫

ファクトチェック



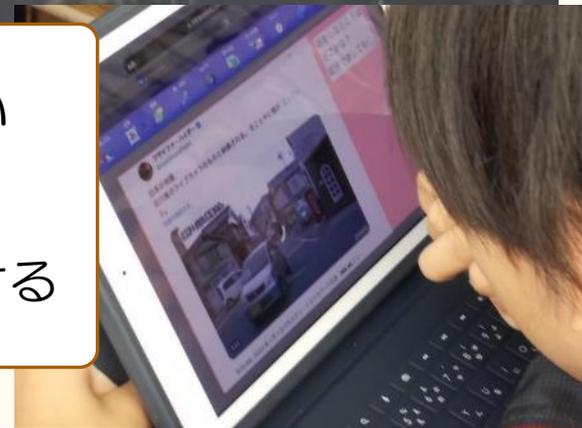
実際に発信された情報を確認

疑わしいところはないか

どう関わっていけば良いか

事実 \Leftrightarrow 間違い
悪意がある \Leftrightarrow 無い

見分ける力を身に付ける



情報の信頼性をテーマとした授業

時代に即した授業の工夫

AIの特性について理解



どう関わっていけば良いか

体験 (たいけん) ・できごと
感情 (かんじょう) ・きもち
会話 (かいわ)
自分だけしか知らないこと



ワタシ ワタシアイ...
オマエ オマエアイ...
オマエ オマエアイ...

文はうまいけれど...
〇〇先生のことではない

AIを取り上げた授業

確認と修正

- 未然防止の取組を最大限
- 失敗はすぐに修正
 - ・子供同士のトラブルは
早期発見・早期解決
- 定期的な振り返り
- よりよい取組を全員で考案

あいさつの花の取組

